

一本・龍吐水一挺宛相渡候條、町内におゐて車桶一つ宛早速拵置、火事所へ相捕可出之候。』とある。

リユウホウ 立芳 ↓スギウラリユウホウ 杉浦立芳。

リユウミヨウジ 隆明寺 白山中宮八院の一つで、源平盛衰記には北四ヶ寺の中に數へてゐる。今能美郡に立明寺村があるのは、その寺の所在である。能美名蹟誌にも『立明寺村に寺跡あり。即ち立明寺と云ふ。』を記して居る。

リユウミヨウジ 立明寺 能美郡徳橋郷に屬する部落。隆明寺があつたに因つて村名となつたものである。

リユウミヨウジ 立明寺石 能美郡立明寺から産する石材。石英粗面岩質凝灰岩で、淡青白色石基中に稍濃色の砂礫を混じり、質粗粒状にして少しく緻密である。

リユウモウケンブン 立毛検分 ↓ミタテガハリオカシマイ 見立代御賃米。

リユウモンジ 龍門寺 鹿島郡小島に在つて、曹洞宗に屬する。文明五年宗眞が哲七尾に創立する所。後今の地に轉じ、元和中堂宇を再建した。次いで鳳至郡三井の興徳寺が退轉した際、本山總持寺の評議によつて、龍門寺を興徳寺と改め、岳山義元・義綱の興徳寺に對して興へた寄進状をも之に讀つたが、後に興徳寺を以て呼ぶものなく、何時しか舊の如く龍門寺に復した。

リユウモンシヨウケン 龍門詔鑑 曹洞宗の僧。大養淳享の法を嗣ぎ、鳳至郡總持寺に住し、能登龍護・信濃靈松の二寺に應遷した。リユウアシヨウコウイカイ 兩亞相公遺誠

一册。前田利家及び利長の遺言状を集めたものである。それを分割した場合には、亞相公遺誠・贈亞相公遺誠といふこともある。

リヨウアシヨウコウイカイコウホン 兩亞相公遺誠校本 兩亞相公遺誠は加賀藩士の間に轉寫を重ねて、誤謬甚だ多きに至つたので、文化三年富田景周が、有澤永貞本を採つて原本とし、世本の異同を上頓に記したものである。又別に文化十二年湯淺龍庵が異本を比較校合したものもある。富田氏の校本には贈亞相公遺誠が三通であるが、湯淺氏のには利常への治命書が一通多い。

リヨウイ 了爲 ↓ゼツガクリヨウイ 絶學了爲。

リヨウイン 了因 金澤眞宗東派林幽寺の住侶。雅亮庵と號し、高倉學寮に學んで寮司に進んだ。嘉永二年三月二十七日六十三歳を以て寂。

リヨウイン 良因 ↓ドクミヨウリヨウイン 獨明良因。

リヨウウン 了運 ↓チユウザンリヨウウン 徳山了運。

リヨウオウ 良應 江沼郡山中國分山醫王寺十四代の僧。文化九年山中温泉縁起を記し、同十年又山中温泉湯治養生巻を書いた。リヨウオウ 了暉 金澤眞宗東派林幽寺の住持。香流庵と號した。初め河北郡南森下光圓寺に養はれたが、奈良に遊學して寺務を顧みなかつた爲に寺を逐はれ、後林幽寺に入り、高倉學寮に學び、文化十三年撰講となつた。加賀法論の起つた時、了暉は文政五年上洛して五乘院寶景講師に内訴する所あつた。九年七月一日寂、七十一歳。

リヨウカイ 良快 ↓ジヨウヨウジ 淨養寺。リヨウカクジ 了覺寺 珠洲郡鹿野(今野々江)に在つて、眞宗東派に屬する。リヨウガンジ 了願寺 金澤豐岡町に在つて、榮照山と號し、淨土宗に屬する。元和八年如來寺五代存繼のこゝに退隱したに起る。リヨウギ 了義 鳳至郡甲眞宗東派願慶寺十代の住持。博聞強記、群書を涉獵し、名聲四方に轟いた爲教を講ぶ者が多かつた。文化九年五月二十五日三歳で寂。

リヨウケ 領家 河北郡英田郷に屬する部落。三宮古記などに見える英田村は現にその名を存せぬが、この領家のことであらう。

リヨウケコシチカリガネ 兩家越路應金 一册。安永九年高田善藏が、金谷御殿内に於いて、中村萬石衛門を殺害した次第を書いたもの。著者は不明。リヨウケシツミ 領家七海 羽咋郡熊野方郷に屬する部落。領家町から分かれたもので、七海と生神との間であるが、地圖にそれを見せたものがある。

リヨウケマチ 領家町 羽咋郡富來院に屬する部落。地頭町・高田と共に惣稱して富來といひ、領家町は富來川を隔て、地頭町に對する。リヨウケンイン 寛玄院 大聖寺藩主第五代前田利道の子利行の法號。詳しくは寛玄院要津義三居士。リヨウケンジ 良源寺 石川郡鶴來に在つて、眞宗東派に屬する。

リヨウケンジ 良玄寺 鹿島郡舊井に在つて、曹洞宗に屬する。永徳二年珠巖道珍の開

基。

リヨウゴ 良悟 ↓ムトクリヨウゴ 無得良悟。リヨウコウ 良高 ↓トクオウリヨウコウ 徳翁良高。リヨウコウ 了光 ↓ジヤクシツリヨウコウ 寂室了光。

リヨウコウジ 亮光寺 能美郡中(部落名)に在つて、眞宗東派に屬する。弘化三年石川郡本吉に創立し、明治三十四年三月今の地に移つた。リヨウコウジ 了廣寺 河北郡東蚊ヶ爪に在つて、眞宗東派に屬する。初め石川郡南新保に創立し、寛文元年金澤に移り、明治十年十二月今の地に轉じた。

リヨウコクテツポウアラタメブギヨウ 領國鐵炮改奉行 ↓テツポウアラタメブギヨウ 鐵炮改奉行。リヨウゴンイン 榜嚴院 七日市藩主第五代前田利英の法號。詳しくは榜嚴院大空高月大居士。リヨウサイジ 了西寺 能美郡平面に在して、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年五月寺號の公稱を許された。

リヨウサンハンオウ 曇山鑿應 金澤曹洞宗寶圓寺四代の住持。下野の人。越の太白寺に往き、廣山祖陽に投じて印可を受け、永平寺に出世し、慶長十年寶圓寺に住し、又宗龍・久昌二寺を金澤に創め、元和八年三月十五日現住中寂した。年六十八。

リヨウシブギヨウ 料紙奉行 貞享二年十月森口伴七が命ぜられた。是より以前もあつたものらしいが、姓名は不明である。同三年